

PRESS RELEASE プレスリリース

2018年 4月発信

報道関係者各位

他者の安寧と平和を祈り、心を整える

りゅうきゅうきんぐうかんのんぼさつぞう
琉球金宮観音菩薩像 建立

2018年4月14日(土)より一般公開スタート

東南植物楽園(所在地:沖縄県沖縄市、代表取締役:宮里 好一、以下当園)は、2018年4月14日(土)に像高約25mの琉球金宮観音菩薩像(りゅうきゅうきんぐうかんのんぼさつぞう)が完成し、一般公開を開始致します。

1968年創業の東南植物楽園は、半世紀を経て2013年7月6日にタピックグループが引継ぎ、再生5年となりました。タピックは、沖縄琉球の「命を大切に」美心(ちゅらぐる)と、日本本土の細やかな和の心やアジア・世界の広い心を、ご縁で円く結び、そして「ゆいまーる(協働の輪)」の精神で世界の平和と発展への貢献を目指しています。世界の誰もが願う平和と他者の安寧を祈る場、アジアや世界の多文化から学び交流し、人々の心を整え、希望と生きる力が得られる空間の創設につなげたいと考えております。

宗教的象徴としての意味合いではなく、アジアに共通の文化のひとつである仏教芸術として、観音菩薩像が建立されます。次代を担っていく子供たちが学び、身近な世界から視野を広げて多様な世界を知り、お互いの違いを受容しあうきっかけになればと思います。当園がグローバルな人材養成と生涯学習の場、交流の場となり、“他者の安寧と平和を祈り、心を整える場”になるように努力いたします。

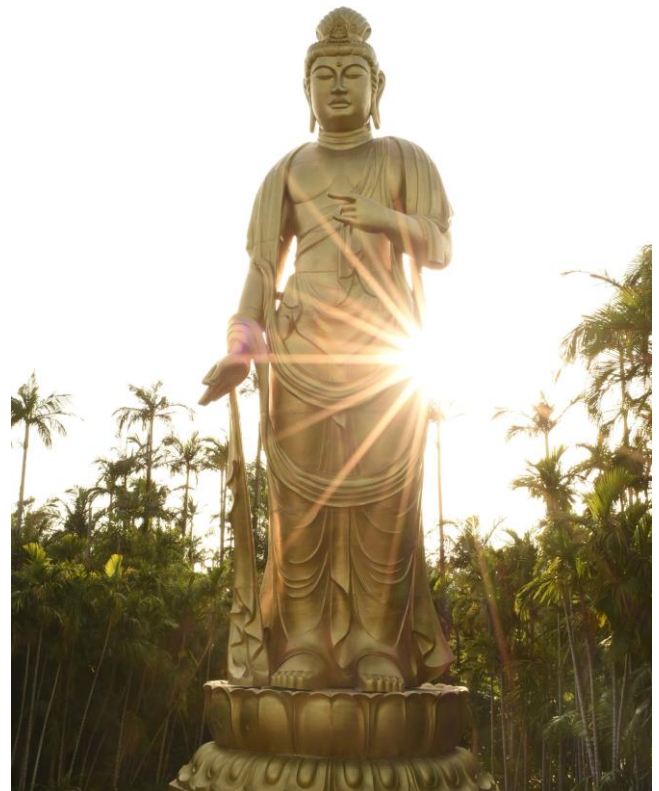
琉球金宮観音菩薩像(りゅうきゅうきんぐうかんのんぼさつ)

<菩薩名由来>

「金」は、人類にとっての普遍的な価値、宝の象徴である。「宮」は、宮殿など高貴なところ、神聖な場所としての意味がある。

人々が他者の幸せのために祈り、世界の人々が集まって交流する空間になるようにと願いが込められている。

<建立規模> 像高約25メートル





【東南植物楽園 施設概要】

- 所在地：〒904-2143 沖縄県沖縄市知花 2146
- 敷地面積：4万5千坪
- 植物・花：1,333種以上
- 営業時間：9:00~18:00（金・土・祝前日は22:00まで）
- 入園料：大人1,500円、高校生1,000円、小中学生500円、6歳未満無料
- 駐車場：350台（無料）

【取材・掲載に関するお問い合わせ】

東南植物楽園 セールス・マーケティング部
マーケティングチーム 長田、新垣 まで
TEL：098-939-2555 FAX：098-939-2564
<http://www.southeast-botanical.jp/>